

お客様向け保守サービス運用資料

2021年6月から追加される Google順位の要素「コアウェブバイタル」とは

2021.04 ブランディングテクノロジー株式会社 カスタマーマーケティング部



その想いを、たしかな未来へ



Googleが 重要と 考える要素

2021年現在、Googleはコンテンツが充実しているだけでなく、見る人に「**良い体験**」を与えるサイトが重要と考えています。

例えば

- サイトの読み込みが速い
- サイトの読込中に勝手にレイアウトが変わらない
- スマートフォンに対応したレイアウトで表示される

...

といったものが要素としてあげられており、簡単に言えば、ストレスを与えないサイト、安心してアクセスできるサイトを重視しています。

これらの「良い体験を与える」要素をまとめて**ページエクスペリエンス**と呼び、それぞれが検索順位に影響する要素となっています。

特に以前から対応が重要とされているのが、下記の2つです。



モバイルフレンドリー (2015年から順位要素)

スマートフォン表示に対応しているかどうか

現在はPCよりもスマートフォンからWEBサイトを見る人が多い。
スマートフォンに対応すればより多くの人がサイトを見やすくなる。



SSL(HTTPS)対応 (2014年から順位要素)

暗号化された通信方式を使用しているかどうか

暗号化されていない通信 (HTTP)の場合、盗聴や改ざんのおそれがあり、
ユーザーの個人情報を危険に晒すことに繋がる。

これらはすでに対応しているサイトも多く、
個人情報保護法改正の影響もあって、上場企業では
サイトにおけるSSLの普及率が8割を超えています。

ページ
エクスペリエンス

コアウェブ バイタル (CoreWebVitals)

このページエクスペリエンスに、
2021年6月から新たに追加されるのが
「コアウェブバイタル (CoreWebVitals) 」と呼ばれる3つの要素です。

LCP

Largest Contentful Paint :
最大コンテンツの描画

メインコンテンツの読み込みにかかる時間

メイン画像などに画像・動画など
重いファイルを利用していると悪化。
ユーザーに情報の表示まで待たせることになる

FID

First Input Delay :
初回入力遅延

読込中のアクションがどのくらい遅れるか

スクリプトの読み込みなどで悪化し、
スクロールのカクつき・クリック反応の悪さ
などを引き起こす

CLS

Contents Layout Shift :
累積レイアウト変化

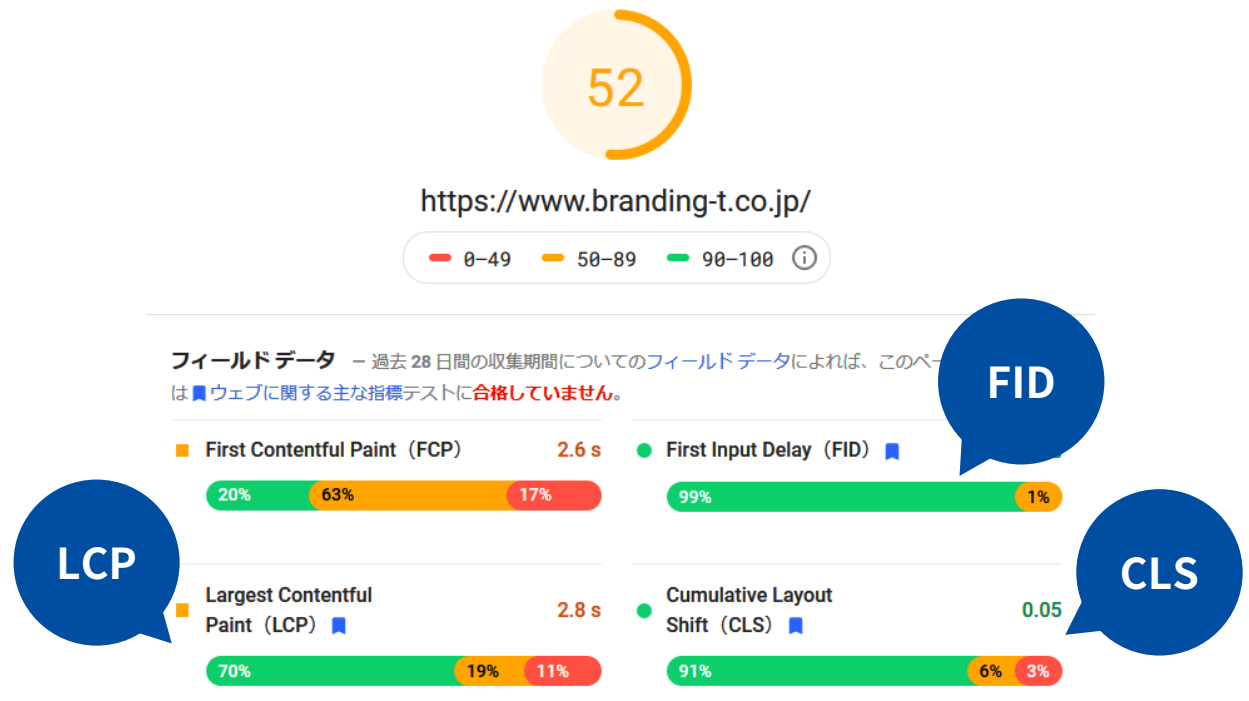
読込中にレイアウトの変化が起きる割合

バナーや地図などが読み込まれるタイミングによって、
後からページのレイアウトが変わる時などに悪化。
見ていたコンテンツが移動してしまうなど、
ユーザーにストレスを与える

コアウェブ バイタルを 測る

3つの値は下記のサイトで計測が可能で、
URLを入れることで、自サイトの数値を見ることができます。

<https://developers.google.com/speed/pagespeed/insights/>

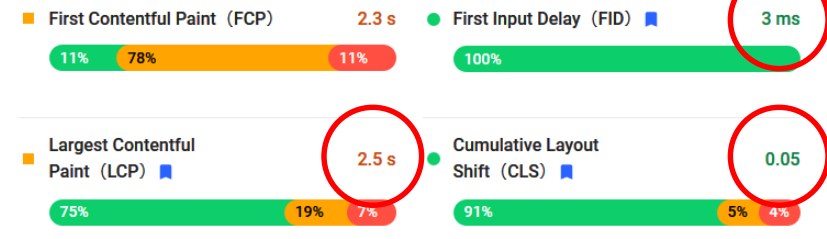


計測結果の見方

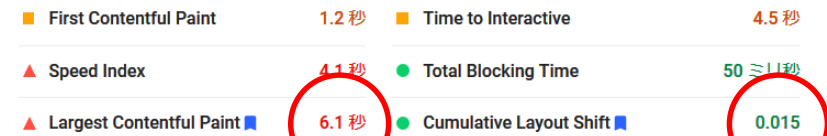
結果の「フィールドデータ」または「Origin Summary」がこれまで計測された統計値で、順位の要素になります。
(アクセス数が少ないと表示されない場合もあります)
その下の「ラボデータ」は直前で行ったテストの計測結果で、直近のサイトの状況を示す参考値となります。

丸をつけた
数値の色が
緑…良好
黄…要改善
赤…不良

Origin Summary - 過去 28 日間の収集期間について、この提供元から配信されたすべてのページの総合エクスペリエンスは、**ウェブに関する主な指標テストに合格していません**。各ページに合わせた提案を確認するには、個々のページの URL を分析してください。



ラボデータ



推定値のため変動する可能性があります。パフォーマンススコアの計算は、これらの指標を基に行っています。 [See calculator.](#)

コアウェブバイタル3要素の数値が緑色の表記になっていれば合格、そうでなければ対応の余地あり、ということになります。

コアウェブ バイタルを 改善する

コアウェブバイタルで計測された数値の改善について、一般的には次のような内容が改善方法として挙げられます。

LCP

メインコンテンツの読み込みにかかる時間

- script要素の適切な記述
- HTMLファイルの軽量化
- CSSファイルの軽量化
- メイン画像の軽量化

FID

読込中のアクションがどのくらい遅れるか

- スクリプトの対応内容を減らし、ロングタスクを軽減
- HTMLファイルの軽量化

CLS

読込中にレイアウトの変化が起きる割合

- 画像のサイズ指定
- スクリプトによる表示要素の調整

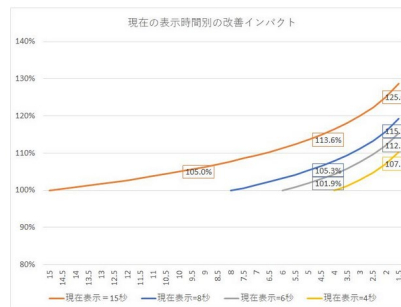
また、数値レポートの下部にある「改善できる項目」を対応しても、一定の数値の改善が見込まれます。

数値の改善は ユーザーの 体験も 改善する

レポートや修正方法を見ると、コアウェブバイタルは数値上、コード上の問題のように捉えがちですが、ページの読み込みが早いことは、実際にユーザーの「**良い体験**」にとって影響があり、直帰率（サイトを開いた後に別のサイトに行ってしまう割合）の改善や、サイトからの問い合わせ数にも影響するというデータがあります。

- 🌟 As page load time goes from:
 - 1s to 3s** the probability of bounce **increases 32%**
 - 1s to 5s** the probability of bounce **increases 90%**
 - 1s to 6s** the probability of bounce **increases 106%**

ページの読み込み時間が1秒から5秒になると、直帰率は**90%悪化**



ページの読み込み時間が5秒から2秒になると、問い合わせ率が**10%改善**

出典

<https://www.thinkwithgoogle.com/marketing-resources/data-measurement/mobile-page-speed-new-industry-benchmarks/>
<https://kobit.in/archives/11148>

コアウェブ バイタルの 対応方針

コアウェブバイタルの数値を改善するための内容は、サイトの構成・サーバーの状況などから、対応が難しいものや、対応に多くの時間を要するものもあります。

「コアウェブバイタル」を含む「ページエクスペリエンス」は順位の決定要素となりますが、その**影響力は比較的小さい**ものになると予告されています。そのため、あまりにコストの掛かる対応をしても結果にはつながらないかもしれません。

ただし、ページ内容の差が少ないような検索ワードでは他のページに対する優位性となりますし、競合が対応しているのに自サイトが対応していない、という場合は相対的に順位を落とす要素にもなります。

対応のパフォーマンスを考え、行いやすい場所から**優先順位をつけて対応することをおすすめしています。**

保守サポート お問い合わせ

自社のサイトの点数について、
その他モバイル対応やSSL導入などに関して
ご相談がある場合は、下記保守サポートまでお問い合わせください。

☎ お電話でのご連絡

03-5457-1344

03-5457-3982（歯科のお客様）

（両番号とも 土日祝除く平日10:00～18:00）

✉ メールでのご連絡

support@branding-t.co.jp

※本資料に掲載されている情報は

いずれも2021年04月の情報を元にしております。

Googleの方針などにより、掲載内容は今後変更になる場合がございます。

最新の情報をご確認いただけますようお願いいたします。

Brand Planning

CI / Product / Service

Inner Branding

Outer Branding

Communication Design

Contents Creative



Branding Technology

Digital Marketing

Ad Technology

AI / IoT / RPA

HR Tech

Marketing Automation